

VI.がん患者に対するピア・サポート体制に関する都道府県調査

改訂委員会 小川 朝生
国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍科 科長

A. 目的

ピア・サポートは、がんを含めた慢性疾患に対する基礎的な心理社会的な支援の一形式である。

2023(令和 5)年 3 月にがん対策推進基本計画(第 4 期)が策定され、2024(令和 6)年、各都道府県では、それぞれの都道府県がん対策推進計画が策定された。

本事業では、上記の活動を支援するために、各都道府県への情報提供を行った。その一環として、各都道府県におけるピア・サポート研修の実施状況や行政と医療機関との協力体制に関する現状を把握することを目的に、厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課の協力を得て、各都道府県に対してアンケート調査を実施した。

B. 経過

各都道府県におけるピア・サポート研修や行政と医療機関の協力体制に関する現状を把握す

るため、全都道府県のがん対策の担当部署を対象に、ピア・サポートに関する取組み状況についてのアンケート調査を実施した。

実施時期は 2024 年 5 月 31 日(金)～7 月 28 日(日)で行い、46 の都道府県担当部署より回答を得た。

【概要】

調査方法：WEB フォームを利用したアンケート調査

調査実施期間：2024 年 5 月 31 日(金)～7 月 28 日(日)

調査対象自治体数：全都道府県

回答数：46 (回収率 97.9%)

C. 回答結果

アンケートの各項目の結果は以下の通りであった。

取り組み状況一覧

NO.	都道府県	都道府県がん対策推進計画への記載		協議会や部会での検討の枠組み、拠点病院等の連携			ピアサポーター向け研修会の開催		ピアサポーターのマネジメント体制			
		ピア・サポートや患者サロン等の場に関する取り組み等実施策等の記載	ピア・サポートや患者サロン等の場に関するロジックモデルなどを元にした数値目標の設定	協議会、部会等で都道府県内のピア・サポートについて検討する枠組みがあり、この1年以内で検討があった	がん診療連携拠点病院等で実施する患者サロン同士の連携や情報共有の機会が、この1年以内にあった	ピア・サポーター養成研修会の内容や運営について、がん診療連携拠点病院等と検討する機会がこの1年以内にあった	ピア・サポーター養成研修会の定期的な開催	フォローアップ研修会の定期的な開催	ピア・サポーターの登録制がある	登録されたピア・サポーターに活動の場を提供するための調整をしている	登録されたピア・サポーターの教育、管理などのマネジメントを全般的に行う部署がある	活動の振り返りなどを行い、ピア・サポーターの質の担保の取り組みを行っている
1	北海道	○		○	○	○						
2	青森県	○		○							○	
3	岩手県	○	○									
4	宮城県	○	○	○		○	○	○			○	○
5	秋田県	○		○	○	○	○	○				○
6	山形県	○		○	○		○	○	○	○	○	○
7	福島県	○	○		○		○	○	○	○	○	○
8	茨城県	○	○				○	○				
9	栃木県	○	○			○	○	○	○	○	○	
10	群馬県	○		○				○	○	○	○	○
11	埼玉県	○					○	○	○	○	○	○
12	千葉県	○					○	○	○	○	○	○
13	東京都	○	○	○								
14	神奈川県	○		○	○		○					
15	新潟県											
16	富山県	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
17	石川県	○		○		○	○	○	○	○	○	○
18	福井県	○			○		○					
19	山梨県	○					○	○	○	○	○	○
20	長野県											
21	岐阜県	○		○	○	○						
22	愛知県	○			○		○	○				
23	静岡県	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
24	三重県	○		○			○	○	○	○	○	○
25	滋賀県	○		○	○		○	○	○	○	○	○
26	京都府	○	○		○		○					
27	大阪府	○			○							
28	兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	和歌山県	○		○	○							
31	鳥取県	○				○						
32	島根県	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
33	岡山県	○		○	○		○	○				○
34	広島県	○		○			○	○	○	○	○	○
35	山口県	○		○	○	○						
36	徳島県	○	○					○			○	
37	香川県	○					○	○	○	○	○	
38	愛媛県	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
39	高知県	○		○	○							
40	福岡県	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
41	佐賀県	○	○		○		○	○				○
42	長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	熊本県	○		○	○		○		○	○	○	○
44	大分県	○	○									
45	宮崎県	○	○									
46	鹿児島県	○	○	○			○	○	○	○	○	○
47	沖縄県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		45	21	27	25	14	31	29	23	23	26	25

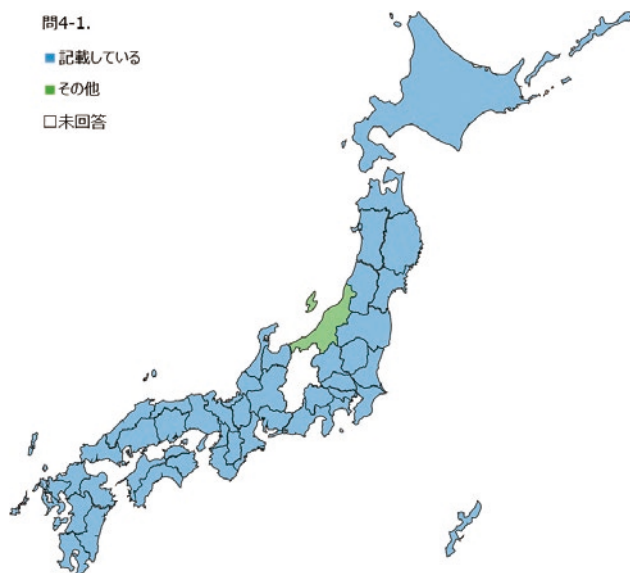
都道府県がん対策推進計画への記載

都道府県がん対策推進計画①：ピア・サポートや患者サロン等の場に関する項目の設定

2024(令和6年)度に策定された第4期都道府県がん対策推進計画において、ピア・サポートや患者サロン等に関して取り組むべき施策等を記載している都道府県は45都道府県だった。

問4-1. 令和6年4月から施行された、都道府県がん対策推進計画の中で、ピア・サポートや患者サロン等の場に関して、取り組むべき施策等を記載していますか。

問4-1	数	割合
1.記載している	45	95.7%
2.その他	1	2.1%
未回答	1	2.1%
総計	47	100.0%

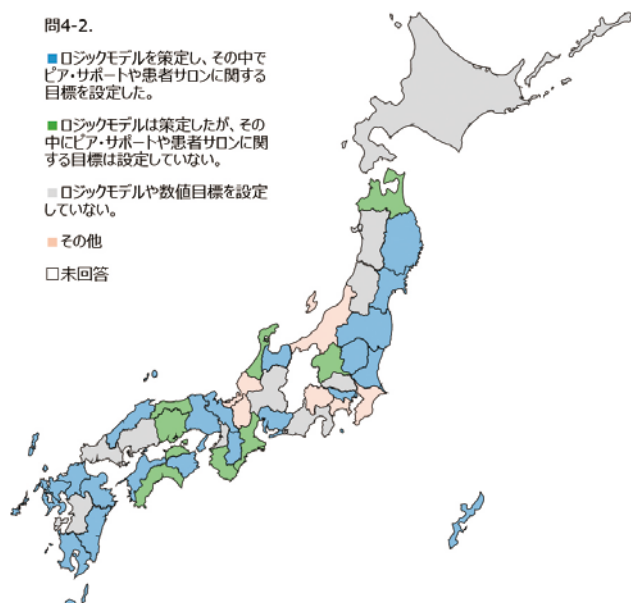


都道府県がん対策推進計画②：ロジックモデル等を活用した数値目標の設定

2024(令和6年)度に策定された第4期都道府県がん対策推進計画において、ピア・サポートや患者サロン等に関する項目に、国の第4期がん対策推進基本計画で示されたロジックモデルを元にした数値目標を設定した都道府県は21都道府県だった。

問4-2. 令和6年4月から施行された都道府県がん対策推進計画の中で、ピア・サポートや患者サロン等の場に関して、国の第4期がん対策推進基本計画で示されたロジックモデルなどを元にした数値目標は設定していますか。

問4-2	数	割合
1.ロジックモデルを策定し、その中でピア・サポートや患者サロンに関する目標を設定した。	21	44.7%
2.ロジックモデルは策定したが、その中にピア・サポートや患者サロンに関する目標は設定していない。	9	19.1%
3.ロジックモデルや数値目標を設定していない。	10	21.3%
4.その他	6	12.8%
未回答	1	2.1%
総計	47	100.0%



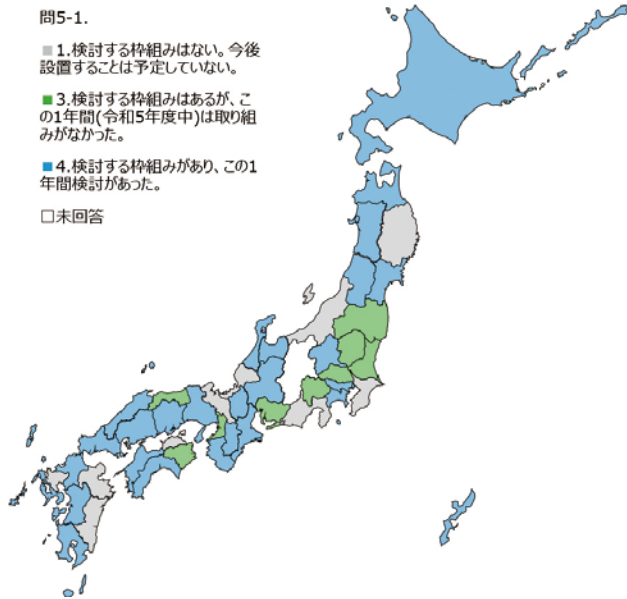
ピア・サポート普及に向けた協議会や部会等の枠組み、拠点病院等の連携

都道府県がん診療連携協議会・部会、拠点病院等との連携①：ピア・サポート全般についての検討状況

都道府県のがん診療連携協議会等の場で、ピア・サポートについて、検討する枠組みがありこの1年間(2023(令和5)年度中)に検討があった都道府県は27都道府県だった。検討する枠組みはない都道府県が10都道府県だった。

問5-1. 都道府県がん診療連携協議会、部会等で都道府県内のピア・サポートについて検討する枠組みはお持ちですか。

問5-1	数	割合
1. 検討する枠組みはない。今後設置することは予定していない。	10	21.3%
2. 現時点では検討する枠組みはないが、新しく設置することを検討している。	0	0%
3. 検討する枠組みはあるが、この1年間 は取り組みがなかった。	9	19.1%
4. 検討する枠組みがあり、この1年間検討があった。	27	57.4%
未回答	1	2.1%
総計	47	100.0%

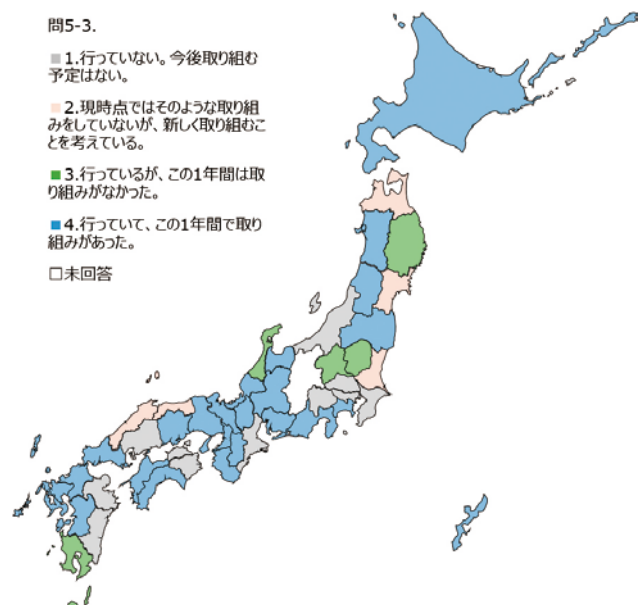


都道府県がん診療連携協議会・部会、拠点病院等との連携②：拠点病院で開催される患者サロンの連携や情報共有の機会

患者サロン同士の連携の場や情報共有を行っている都道府県は 25 都道府県ある一方、定期的な取り組みはしていない都道府県が 11 都道府県だった。

問 5-3. がん診療連携拠点病院等で実施する患者サロン同士の連携や情報共有は行っていますか。この 1 年間の取り組みについて教えてください。

問 5-3	数	割合
1.行っていない。今後取り組む予定はない。	11	23.4%
2.現時点ではそのような取り組みをしていないが、新しく取り組むことを考えている。	5	10.6%
3.行っているが、この 1 年間は取り組みがなかった。	5	10.6%
4.行っていて、この 1 年間で取り組みがあった。	25	53.2%
未回答	1	2.1%
総計	47	100%



都道府県がん診療連携協議会・部会、拠点病院等との連携③：ピア・サポーター養成研修会の内容を拠点病院と検討する機会

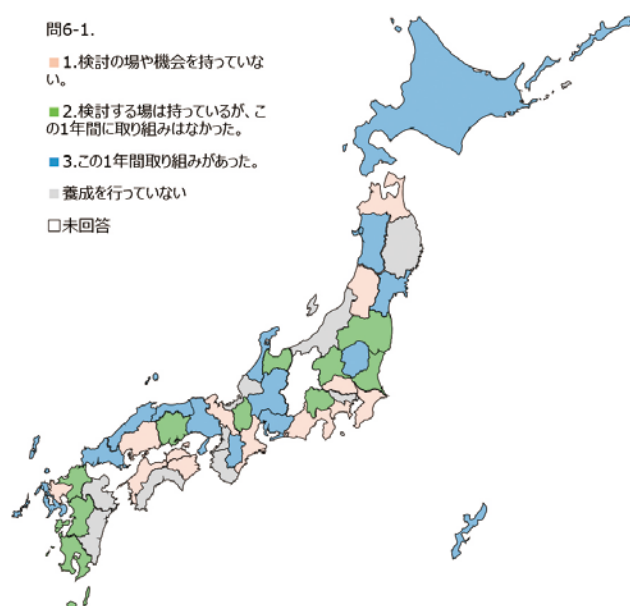
ピア・サポーター養成研修会を実施したことがある37都道府県のうち、この1年間(2023(令和5)年度中)にピア・サポーターの養成研修会のプログラム等に関し、がん診療連携拠点病院の医療従事者と検討した都道府県は14都道府県だった。

検討の場はあるものの、この1年間のうちで取り組みがなかった都道府県は10都道府県であった。養成をしていない、あるいは検討の場や機会のない都道府県は13都道府県だった。

問6-1 ピア・サポーター養成研修会の内容や運営について、がん診療連携拠点病院等と検討する機会をお持ちですか。

問6-1	数	割合
1.検討の場や機会を持っていない。	13	35.1%
2.検討する場は持っているが、この1年間に取り組みはなかった。	10	27.0%
3.この1年間取り組みがあった。	14	37.8%
総計	37	100.0%

※これまでピア・サポーターの養成を行ったことがある都道府県への質問



ピア・サポーター向け研修会の実施

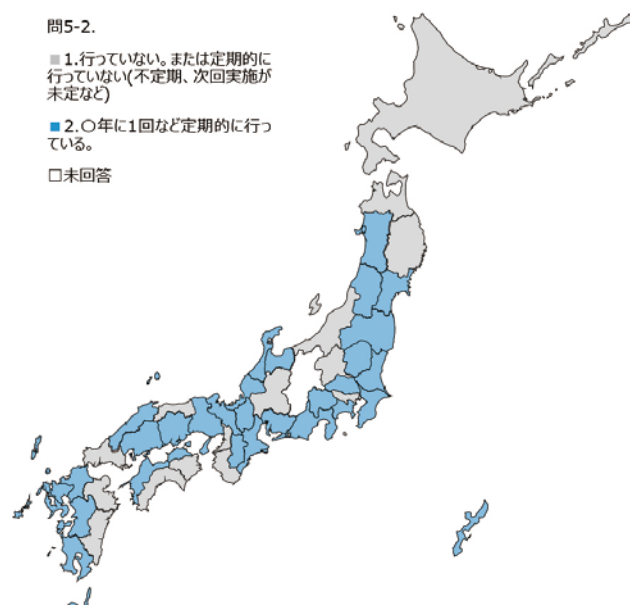
ピア・サポーター向け研修会の実施①：ピア・サポーター養成研修会の開催状況

ピア・サポーターの養成を目的とした研修会を、定期的に行っている都道府県は31都道府県あった。定期的な開催はしていない都道府県は15都道府県だった。

問5-2. ピア・サポーター養成研修会は定期的に行っていますか。この1年での取り組みについて教えてください。

問5-2	数	割合
1.行っていない。または定期的に行っていない(不定期、次回実施が未定など)	15	31.9%
2.〇年に1回など定期的に行っている。	31	66.0%
未回答	1	2.1%
総計	47	100.0%

問5-2 養成研修会の実施主体	数
都道府県	11
委託先の団体	17
その他の団体	3



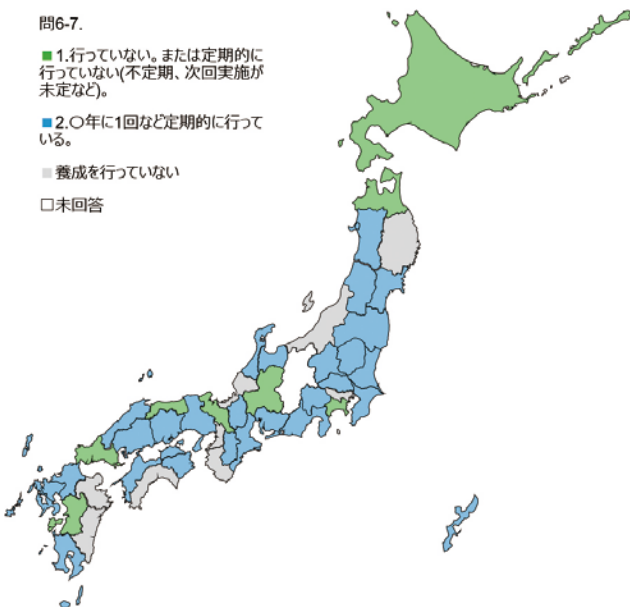
ピア・サポーター向け研修会の実施②：フォローアップ研修会の定期的な開催

ピア・サポーター養成研修会を実施したことがある 37 都道府県のうち、ピア・サポートの質を担保するためのフォローアップ研修を実施している都道府県は 29 都道府県だった。

問 6-7. フォローアップ研修会は定期的に行っていますか。

問 6-7	数	割合
1.行っていない。または定期的に行っていない(不定期、次回実施が未定など)。	8	21.6%
2.〇年に 1 回など定期的に行っている。	29	78.4%
総計	37	100.0%

※これまでピア・サポーターの養成を行ったことがある都道府県への質問



ピア・サポーターのマネジメント体制

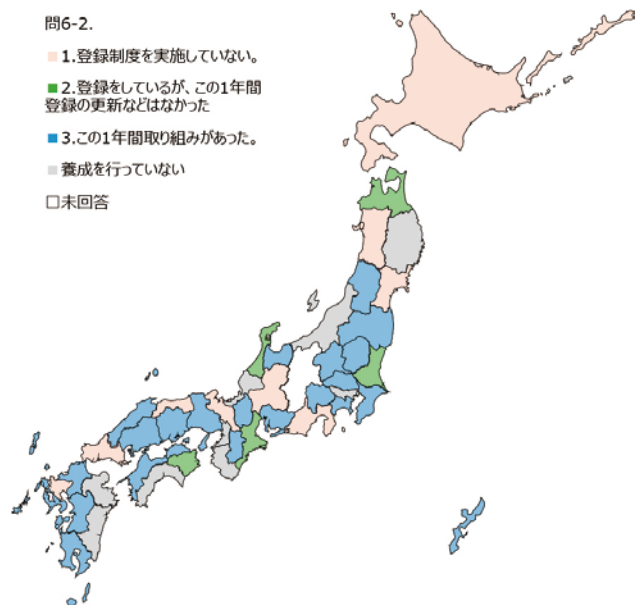
ピア・サポーターのマネジメント体制①：ピア・サポーターの登録体制

ピア・サポーター養成研修会を実施したことがある 37 都道府県のうち、ピア・サポーターの養成後のマネジメントの基本となる登録制度について、登録制度を取っているのは 28 都道府県、そのうちこの 1 年間で取り組みがあった都道府県は 23 都道府県だった。

問 6-2. ピア・サポーターの登録制度はありますか。

問 6-2	数	割合
1.登録制度を実施していない。	9	24.3%
2.登録をしているが、この 1 年間登録の更新などはなかった。	5	13.5%
3.この 1 年間取り組みがあった。	23	62.2%
総計	37	100.0%

※これまでピア・サポーターの養成を行ったことがある都道府県への質問



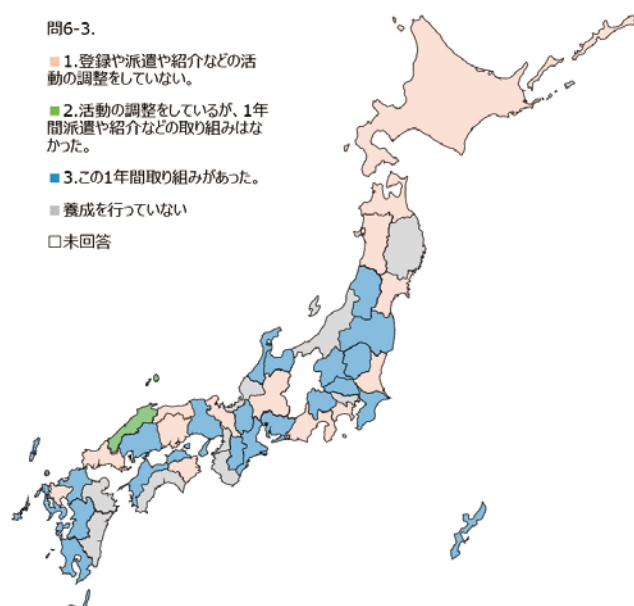
ピア・サポーターのマネジメント体制②：ピア・サポーターの活動場所の調整

ピア・サポーター養成研修会を実施したことがある37都道府県のうち、養成したピア・サポーターをがん診療連携拠点病院等へ派遣する等のマネジメントを行った都道府県は22都道府県だった。

問6-3. 登録されたピア・サポーターに活動の場を提供するための調整は行っていますか(例：患者サロンへの派遣、紹介など)。

問6-3	数	割合
1.登録や派遣や紹介などの活動の調整をしていない。	14	37.8%
2.活動の調整をしているが、1年間派遣や紹介などの取り組みはなかった。	1	2.7%
3.この1年間取り組みがあった。	22	59.5%
総計	37	100.0%

※これまでピア・サポーターの養成を行ったことがある都道府県への質問



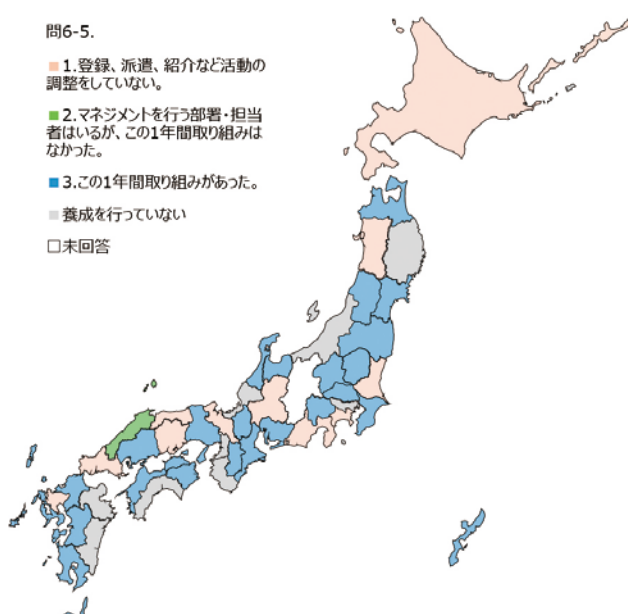
ピア・サポーターのマネジメント体制③：ピア・サポーターの教育、管理などのマネジメント部署

ピア・サポーター養成研修会を実施したことがある37都道府県のうち、ピア・サポーターの養成から活用までを担う部署を定めている都道府県は26都道府県であった。そのうち2023（令和5）年度内に取り組みを行った県は、25都道府県だった。

問6-5 登録されたピア・サポーターの教育、管理などのマネジメントを全般的に行う部署・担当者(もしくは行政以外の他機関)は定まっていますか。

問6-5	数	割合
1.登録、派遣、紹介など活動の調整をしていない。	11	29.7%
2.マネジメントを行う部署・担当者はいりますが、この1年間取り組みはなかった。	1	2.7%
3.この1年間取り組みがあった。	25	67.6%
総計	37	100.0%

※これまでピア・サポーターの養成を行ったことがある都道府県への質問



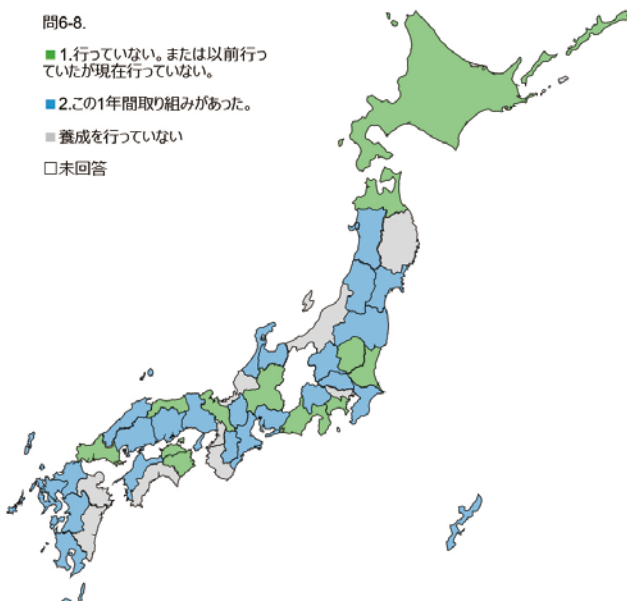
ピア・サポーターのマネジメント体制④：活動の振り返り、質の担保への取り組み

ピア・サポートの質を維持・向上させる活動後の振り返りの機会を作ることは重要である。ピア・サポーター養成研修会を実施したことがある 37 都道府県のうち、質の担保に取り組む活動を行った都道府県は 25 都道府県だった。

問 6-8. 活動の振り返りなどを行い、ピア・サポーターの質の担保に取り組んでいますか。

問 6-8	数	割合
1.行っていない。または以前行っていたが現在行っていない。	12	32.4%
2.この1年間取り組みがあった。	25	67.6%
総計	37	100.0%

※これまでピア・サポーターの養成を行ったことがある都道府県への質問



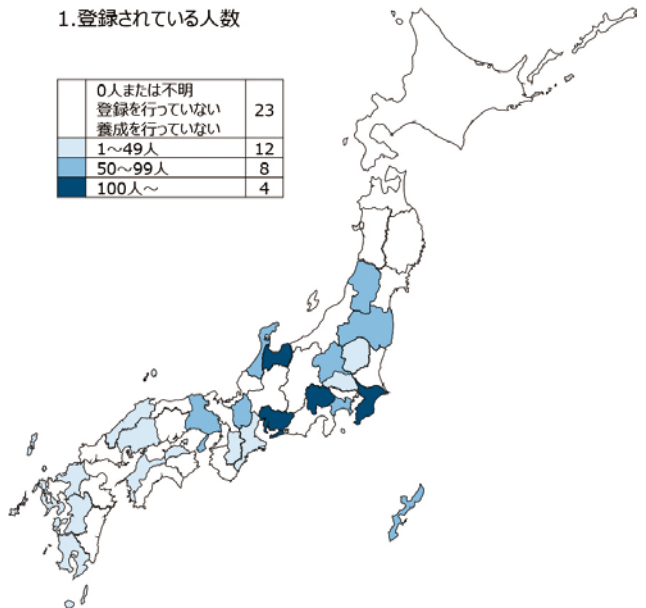
ピア・サポーターの活動状況①：登録しているピア・サポーターの数、活動可能なピア・サポーターの数活動しているピア・サポーターの人数

ピア・サポーターの登録制度を持っている県において、登録されている人数、そのうち実際に活動している人数については、都道府県ごとの制度の違いはあるものの、100 名以上登録されている都道府県もあった。

1. 登録されているピア・サポーターの数
2. 登録されているピア・サポーターのうち、活動可能なピア・サポーターの数
3. 令和 5 年度中にがん診療連携拠点病院内で活動をしたピア・サポーターの人数

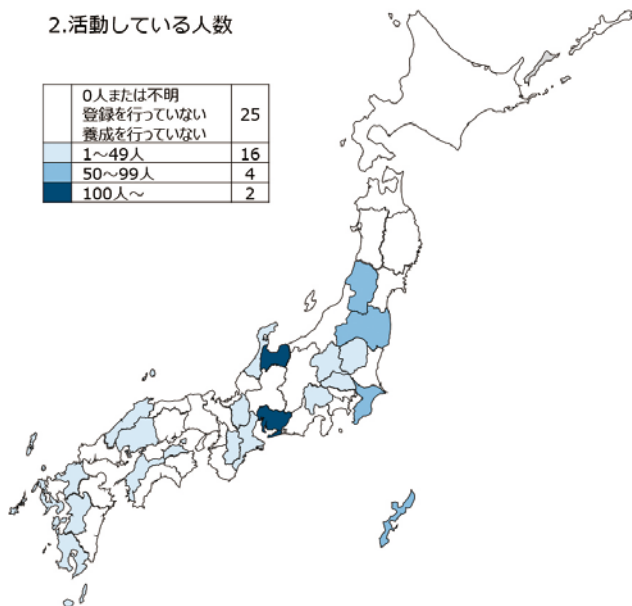
1.登録されている人数

0人または不明 登録を行っていない 養成を行っていない	23
1～49人	12
50～99人	8
100人～	4



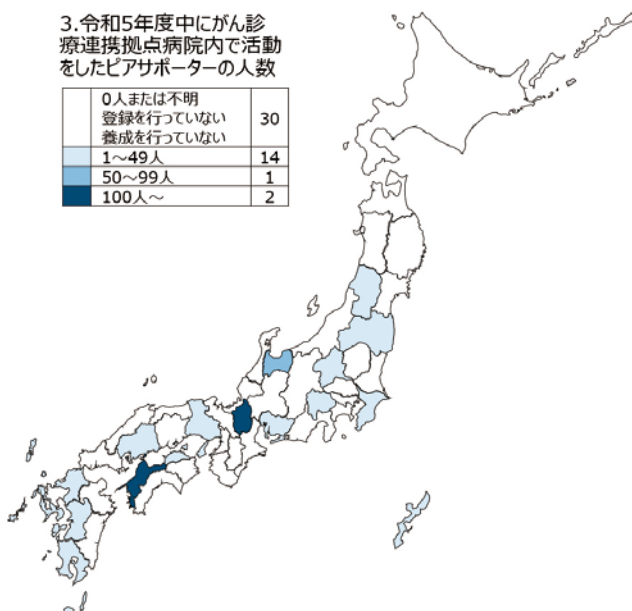
2.活動している人数

0人または不明 登録を行っていない 養成を行っていない	25
1～49人	16
50～99人	4
100人～	2



3.令和5年度中にごん診療連携拠点病院内で活動をしたピアサポーターの人数

0人または不明 登録を行っていない 養成を行っていない	30
1～49人	14
50～99人	1
100人～	2



ピア・サポーターの活動状況②：ピア・サポーターの活動場所

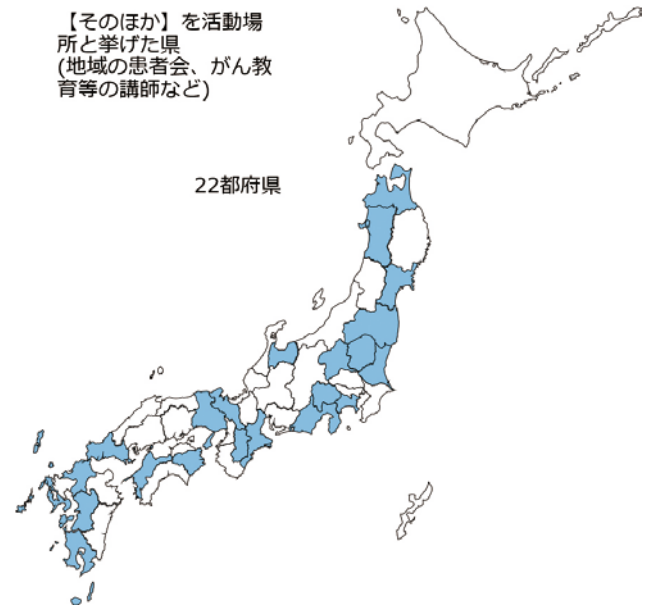
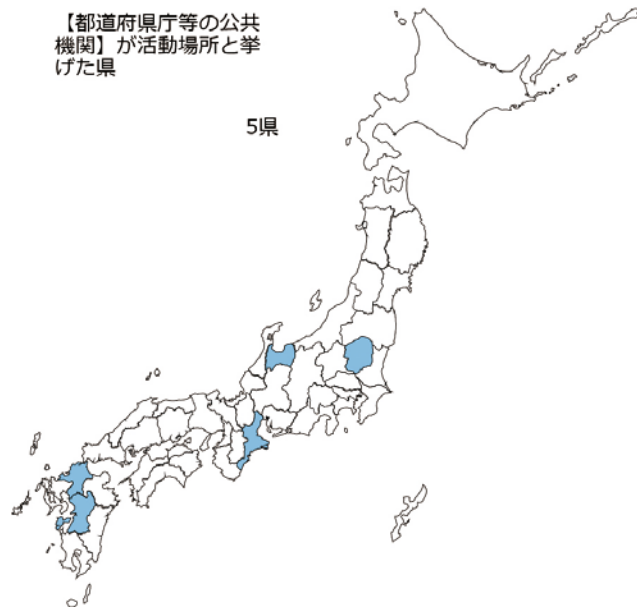
ピア・サポーターが活動する場として、がん診療連携拠点病院等を挙げた都道府県は 32 都道府県、都道府県庁等の公共の場を挙げたのは 5 都道府県、オンライン上を挙げたのは 12 都道府県だった。

活動場所	数
1.がん診療連携拠点病院等の医療機関	32
2.都道府県庁等の公的機関	5
3.オンライン上	12
4.地域の患者会、患者支援団体	22

【がん診療連携拠点病院】が活動場所と挙げた県

32都府県





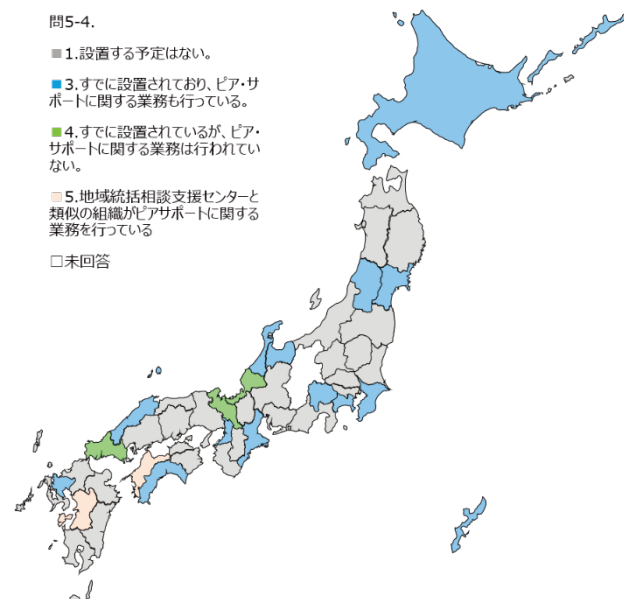
地域統括相談支援センター

地域統括相談支援センターの設置状況

ピア・サポーターの養成等マネジメントを担ううえで活用の望まれる地域統括相談支援センターについて、設置している都道府県は 16 都道府県あった（表 11）。そのうち 13 都道府県はピア・サポートに関する業務も行っていた。

問 5-4. 地域統括相談支援センターを設置する予定はありますか。

問 5-4	数	割合
1.設置する予定はない。	28	59.6%
2.設置する予定がある。	0	0.0%
3.すでに設置されており、ピア・サポートに関する業務も行っている。	13	27.7%
4.すでに設置されているが、ピア・サポートに関する業務は行われていない。	3	6.4%
5.地域統括相談支援センターと類似の組織がピア・サポートに関する業務を行っている。	2	4.3%
未回答	1	2.1%
総計	47	100.0%



D. 考察

今回、自治体のがん対策担当部署を対象に、ピア・サポートに関する取組みの状況をたずね、46 都道府県より回答を得た。

都道府県がん対策推進計画でピア・サポートや患者サロンに関して目標を取り組むべき施策等を記しているのは 45 都道府県 (95.7%) で、ロジックモデルをもとにした数値目標を検討している都道府県は 21 都道府県(44.7%)であった。

都道府県がん診療連携協議会等で定期的にピア・サポートに関する検討が行われているのは、27 都道府県(57.4%)であった。またピア・サポーター養成研修会を開催したことがあると回答した 37 都道府県のうち、養成研修の内容を拠点病院等とこの 1 年間で検討する機会があったのは 14 都道府県(37.8%)であった。

がん診療連携拠点病院内の患者サロン同士の連携や情報共有が定期的に行われているのは 25 都道府県(53.2%)であった。

ピア・サポーター養成研修会が定期的に開催されているのは 31 都道府県(66.0%)であった。

ピア・サポーター養成研修会を開催したことがあると回答した 37 都道府県のうち、養成したピア・サポーターを対象に登録制度を取っているのは 28 都道府県(75.7%)、ピア・サポーター活動の調整を行っているのは 23 都道府県(62.2%)であった。登録され

たピア・サポーターのマネジメントを担う部署等が決まっているのは 26 都道府県(70.3%)であった。

フォローアップ研修を定期的開催しているのは、ピア・サポーター養成研修会を開催したことがあると回答した 37 都道府県のうち 29 都道府県(78.4%)、活動する都度振り返りを行っている体制を整備しているのは 25 都道府県(67.6%)であった。

ピア・サポートの養成・活用には、自治体と医療機関との密な連携のもとに、目標の設定と事業の遂行が求められる。第4期がん対策推進基本計画のもと、各都道府県のがん対策推進計画には、ピア・サポートに関しても記述された一方、ロジックモデル等の具体的な目標を設定した都道府県はおよそ半数弱に留まった。また、都道府県がん診療連携協議会等のもとに、ピア・サポートの養成や継続研修、活用について定期的に検討する場をもつ都道府県は、第4期がん対策推進基本計画の策定後でも 6 割程度であった。がん対策において、各都道府県において、両者の関与が重要となる領域では、地域の実情や方向性について客観的なデータに基づく共通認識を持ち、地域のニーズに合った実施体制を組むことが重要である。あわせて、ピア・サポートの活動を推進するために、研修プログラムに沿った研修を実施すると共に、継続的な研修を行う教育体制や研修修了者を活用するマネジメント体制についても構築する必要がある。都道府県の取り組みを共有し、地域の実情にあわせた体制整備を進めることが望まれる。

表 11 地域統括相談支援センター一覧

		地域統括相談支援センター	ピア・サポートに関する業務の実施
1	北海道	北海道がん総合相談支援センター（北海道がんセンター内）	○
2	宮城県	宮城県がん総合支援センター（宮城県対がん協会）	○
3	山形県	山形県がん総合相談支援センター（公益財団法人やまがた健康推進機構）	○
4	千葉県	千葉県地域統括相談支援センター(千葉県がんセンター)	○
5	富山県	富山県がん総合相談支援センター	○
6	石川県	石川県がん安心生活サポートハウス がんサロンつどい場はなうめ（石川県社会福祉会館）	○
7	福井県	地域のがんサロン ヨリドコ	
8	山梨県	山梨県がん患者サポートセンター（山梨県健康管理事業団内）	○
9	三重県	三重県がん相談支援センター（三重県津庁舎内）	○
10	京都府	京都府がん総合相談支援センター	
11	大阪府	大阪府がん患者サポートセンター（特定非営利活動法人つながりひろば内）	○
12	島根県	島根県がん患者・家族サポートセンター（島根大学医学部）	○
13	山口県	山口県がん総合相談窓口（公益社団法人山口県看護協会）	
14	高知県	がん相談センターこうち（こうち男女参画センター「ソーレ」）	○
15	佐賀県	佐賀県がん総合支援センター さん愛プラザ（（公財）佐賀県健康づくり財団内）	○
16	沖縄県	沖縄県地域統括相談支援センター（琉球大学病院がんセンター内）	○

表 12 各都道府県のがん対策推進計画におけるピア・サポート、患者サロンに関する記載

番号	都道府県	がん対策推進計画におけるピア・サポート、患者サロンに関する記載
1	北海道	・拠点病院、地域の病院や患者団体等と連携し、がん患者の不安や悩みを軽減するため、身近な地域でピア・サポートが受けられる環境の整備を促進する ・拠点病院等における患者サロンの設置の促進に取り組む ・国等のピア・サポーターの研修プログラム等を踏まえ、患者団体や拠点病院等と連携し、ピア・サポートや患者サロンで活動している患者や経験者の相談技術の質の向上を促進する
2	青森県	
3	岩手県	県内のピア・サポートの普及、県内の拠点病院における相談支援体制の充実を目指すもの 現状値 4 施設目標値 10 施設
4	宮城県	病院や地域において患者会・サロン等が開催され、がん経験者からの情報提供等が得られる体制整備。ピア・サポーターが育成され、患者会やサロン等にて活動できる体制の整備ロジックモデル（宮城県の HP を参照）
5	秋田県	県及び拠点病院等は、がん患者がピア・サポートについて知り、希望した時に同じ体験を持つ人との交流ができるよう、ピア・サポートの活動支援を行うとともに、がん患者団体と協力してがんサロン等の活動を周知します。
6	山形県	がん患者・経験者との協働を進め、ピア・サポートを推進
7	福島県	ピア・サポートを知っているがん患者の割合 ピア・サポートを利用したことがある人が役に立ったと感じるがん患者の割合
8	茨城県	令和 11 年度目標ピア・サポーター養成研修受講者数：24 名 ピア・サポーターの協力を得て相談を実施連携しているがん相談支援センターの数：県内のがん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、茨城県がん診療指定病院の 17 医療機関全てに設置 患者サロンの設置医療機関数：県内のがん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、茨城県がん診療指定病院の 17 医療機関全てに設置
9	栃木県	県が養成するピア・サポーター数を増やすがん診療連携拠点病院等で開催される年間のがんサロンの回数を計画策定時（28 回）より増加させる
10	群馬県	
11	埼玉県	
12	千葉県	【施策】・がん経験者等の参画による相談支援の充実
13	東京都	・ピア・サポーターの提供推進都においてピア・サポーターの養成研修に取り組み、研修を修了したピア・サポーターの情報を分かりやすい形で拠点病院等（成人・小児）に対して情報提供することにより、質の担保と活動機会の提供の実現を図ります。 ・患者サロンの開催支援国拠点病院・地域がん診療病院・都拠点病院における患者サロンの開催を推進するために、都は、東京都がん診療連携協議会と連携し、好事例の共有等を行うとともに、必要な環境整備を支援します。 ・開催情報の発信強化ピア・サポート及び患者サロンの開催情報を東京都がんポータルサイトで分かりやすく発信するとともに、拠点病院等（成人・小児）と連携し、がん相談情報センター

		による案内も推進します。
14	神奈川県	
15	新潟県	
16	富山県	県がん総合相談支援センターと関係機関との連携により、今後とも患者とその家族がより相談しやすい環境となるよう取り組み必要がある。またがん患者等の不安や悩みに寄り添うピア・サポーターの養成・フォローアップや、がん予防推進員の育成も必要である。
17	石川県	相談・情報提供の充実＞（参考指標）ピア・サポーター養成人数
18	福井県	
19	山梨県	
20	長野県	
21	岐阜県	
22	愛知県	
23	静岡県	「国・県指定病院等 1 施設当たりの連携している患者団体の数」「国・県指定病院等 1 施設当たりの体験を語り合う場の開催数」
24	三重県	
25	滋賀県	がん患者団体連絡協議会主催のサロンの継続
26	京都府	・がん患者とその家族等を含む府民が、がん対策の重要性を認識し、がん医療に関する正しい理解を得て、医療従事者とも連携しながら、がん対策に主体的に参画する社会の実現。 ・ピア・サポーター養成講座の開催（毎年） ・病院等での患者サロンにおけるピア・サポーター養成講座の修了者の活用推進（目標 25 名）
27	大阪府	
28	兵庫県	ピア・サポーター知っているがん患者の割合
29	奈良県	がん患者サロンの月間平均回数の増加、ピア・サポーター登録者数の増加、がん患者サロンの利用者数の増加
30	和歌山県	（取り組みべき施策）県は、がん患者がピア・サポーター等からの支援を受けやすくなるように、情報提供などの取組を行います。
31	鳥取県	
32	島根県	・ピア・サポート利用者満足度 ・ピア・サポーター養成研修、フォローアップ研修受講者数
33	岡山県	がん患者に寄り添ったピア・サポート活動ができるよう、スキルアップ研修会等を開催し、ピア・サポーターの資質向上を図るとともに、拠点病院等と連携しグリーフケアの在り方について検討する。
34	広島県	
35	山口県	

36	徳島県	【がんとの共生】個別施策拠点病院等と民間団体による相談機関やピア・サポーター等との連携体制の構築指標患者団体等と連携している拠点病院の数（現況報告） 個別施策相談支援等に携わる者からピア・サポーター等につなげるための仕組みの構築指標ピア・サポート研修の開催回数（健康寿命推進課）
37	香川県	・県は、ピア・サポートに関する研修会（養成、フォローアップ）を開催し、ピア・サポート活動に関心を持つ人が増えるように取り組むとともに、ピア・サポーターの確保に努める。 ・県及びがん診療連携拠点病院等は、患者同士の体験共有や相談、情報提供ができるがんサロン等の場をより充実させるため、がん患者会等の民間団体やピア・サポーター等との連携を図る。
38	愛媛県	ピア・サポーターの養成数 ピア・サポーターについて知っているがん患者の割合 ピア・サポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合
39	高知県	
40	福岡県	＜今後の取組＞ピア・サポーターの養成に引き続き取り組みとともに、拠点病院等と連携し、患者サロン等の場におけるピア・サポーターの活用促進や、相談のアクセシビリティ向上に向けたオンライン開催可能な環境の整備等、がん患者や家族等が相談しやすい環境づくりに努める。 ＜取組に対する評価指標＞ ・ピア・サポート認知割合（患者体験調査）・養成者数（県独自調査）・養成されたピア・サポーターの活動数（県独自調査）・拠点病院等のピア・サポーター等の活動がオンライン環境で開催できる施設割合（拠点病院現況報告書）
41	佐賀県	・各相談支援センターが認知され、相談・支援が提供される体制を整える。 ・ピア・サポーター養成研修の受講者数を、本計画期間中で延べ60人以上とする。
42	長崎県	県・拠点病院が取り組むべき施策：相談支援等に携わる者が、がん患者とピア・サポーター等をつなげる体制の推進（アウトプット指標：ピア・サポーター活動数） 中間アウトカム：ピア・サポートががん患者に広く知られている指標：ピア・サポートを知っているがん患者の割合（データソース：患者体験調査）
43	熊本県	取り組むべき施策に「がんサロンの普及・定着とピア・サポートの充実」を記載している。
44	大分県	・ピア・サポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合 ・ピア・サポーターについて知っているがん患者の割合
45	宮崎県	数値目標を設定：ピア・サポーターについて知っているがん患者の割合（患者体験調査） 目標値：全国平均以上
46	鹿児島県	36 患者サロンにおいてピア・サポーターを活用している拠点病院等の数 4 医療機関（R5）→8 医療機関（R11）
47	沖縄県	・がんピア・サポートの充実を図る。・がん診療を行う医療機関及びがん患者団体のがん患者サロン等におけるがんピア・サポート活動を推進する。